

山梨



清里開拓当初に活躍したジョンディアのトラクター。緑と黄の「ジョンディアカラー」は、清里のシンボルカラーとして受け継がれている

に尽力しました。1970年代以降には、軽井沢などに並ぶ避暑地として注目を集めることとなります。
80〜90年代のバブル期には、メルヘンチックなペンションが建ち並び、タレントショップが多数進出、若者を中心に多くの観光客が訪れる清里ブームを迎えますが、バブルの崩壊とともに、そのブームは去っていきました。
船木さんは、そんななか、流行に飲まれることなく、清里の発展のために力を尽くしてきた人物です。

少年時代にボール・ラッシュ博士の活動を目の当たりにしていた船木さんは、その遺志を継ぐようして、71年に喫茶店「ROCK」を開店。77年には、手作りの工芸品工房を中心に、小売店やレストランなどを集めて清里の魅力を伝える複合施設「萌木の村」をオープンさせます。
船木さんが二貫して主張してきたのは、「日本では江戸時代から庶民の庭には山野草が生え、街中でも美しい自然を楽しむことができた。今では見られなくなつたそういう庭を復活させよう」というのがナチュラルガーデンの考え方です。イギリス風のガーデンを維持するにはものすごい手間がかかりますが、山野草なら、そこまで手間や費用をかけずに、美しい状態を保つことができます。「とほはいつもの、葉をこけて完成できるも



シカやイヌなど、手作りの動物たちが園内のあちこちに

「観光地としての個性」です。そのときの流行を追いかけるのではなく、しっかりとした哲学をもった観光事業を常に念頭に置いていました。
といっても、変化を恐れているわけではありません。変えるべきところは大胆に変えていきます。
萌木の村の庭は、かつてはイギリスの庭園のように整備していましたが、6年前から、山野草によるナチュラルガーデンに変えることにしました。



「山梨県というのは、4つのプレートが合わさる」ところにある。世界に二つとない景観地なんです」
開口一番、山梨の魅力をとらえようと語りだしたのは、北杜市清里にある「萌木の村」村長の船木上次さん。
プレートとは、地面や海底面の下にある板状の巨大な岩盤。世界は14〜15枚のプレートで構成されていると言われますが、ユーラシアプレート、北アメリカプレート、太平洋プレート、フィリピン海プレートという4つのプレートがちょうど接しているのが、日本の山梨県付近です。この狭い地域に4つのプレートが存在するというのは、世界的にも類を見ないことだとか。
このような特殊な環境のおかげで、山梨県は場所によって地質も違つし、温泉の泉質や水質も多種多様。花崗岩が多い白州では、世界で一番透明と言われる純度の高い水が湧き、ウイスキーの製造にもっとも適しています。安山岩が多い八ヶ岳の水は、ミネラル分を多く含む、ビールに向いています。
「山梨は、水がいいから、日本酒、ワインも含め、あらゆるお酒が作れる貴重な土地なんですよ」
うれしそうに語る船木さんは、スーパー

眠る観光地

語りつくす山梨・清里

今年で28回目を迎えた「清里フィルムフェスティバル」もその一つ。毎年夏に、野外にセッティングされた舞台上で上演されるバレエは、豊かな森を背景に幻想的なイメージを演出し、観客が見られないイベントとして、多くの人に愛されています。
バレエを、一部の人が見る高尚な芸術としてではなく、誰もが気軽に鑑賞できる芸術として楽しんでもらいたい、というのが船木さんの願い。それが、フィルムドパレエの上演を30年近くも続けてきた理由でもあります。
こうした地道な努力が実を結び、清里は現在再び注目を集める観光地として復権することができました。
「価値」というものは、人が作るもの。野草は、名前がつくまではただの雑草ですが、名前がついたとたんに価値のあるものになります。そういう意味では、清里、そして山梨ほど可能性に満ちた土地はないと考えています」
若い世代の人たちにも、ぜひ清里の魅力を知ってもらいたいと語る船木さん。まだまだ可能性が眠っているこの土地の宝を発見するのは、これからの私たちの力にかかっています。

オルゴール博物館「ホール・オブ・ホールズ」

清里は、まだまだ可能性の

萌木の村では、春から秋にかけて地元の山野草が楽しめる

清里と聞くと、バブル時代に一世を風靡した観光地、というイメージを持つ人もいるかもしれません。しかし、今また清里に注目が集まり、観光客が増えつつあります。清里人気の中心地「萌木の村」を訪ね、国土交通省が認定する「観光カリスマ百選」にも選ばれた船木上次さんに、清里と山梨の魅力をうかがいました。

「山梨県というのは、4つのプレートが合わさる」ところにある。世界に二つとない景観地なんです」
開口一番、山梨の魅力をとらえようと語りだしたのは、北杜市清里にある「萌木の村」村長の船木上次さん。
プレートとは、地面や海底面の下にある板状の巨大な岩盤。世界は14〜15枚のプレートで構成されていると言われますが、ユーラシアプレート、北アメリカプレート、太平洋プレート、フィリピン海プレートという4つのプレートがちょうど接しているのが、日本の山梨県付近です。この狭い地域に4つのプレートが存在するというのは、世界的にも類を見ないことだとか。
このような特殊な環境のおかげで、山梨県は場所によって地質も違つし、温泉の泉質や水質も多種多様。花崗岩が多い白州では、世界で一番透明と言われる純度の高い水が湧き、ウイスキーの製造にもっとも適しています。安山岩が多い八ヶ岳の水は、ミネラル分を多く含む、ビールに向いています。
「山梨は、水がいいから、日本酒、ワインも含め、あらゆるお酒が作れる貴重な土地なんですよ」
うれしそうに語る船木さんは、スーパー

「世界の中を見ても、これほど多様性のある美しい景観は存在しないと自信を持って言えます」
さて、ここで、清里という観光地がどのように発展してきたのかを振り返ってみましょう。
八ヶ岳の山麓、標高1200メートルの地にある清里高原は、第二次世界大戦後の開拓によって急速に開けた土地です。大正末期に日本を訪れ、八ヶ岳をはじめとするこの土地の自然に惚れ込んだアメリカ人ポール・ラッシュ博士が、開拓と農業支援

清里を見つめ続けて...



萌木の村村長の船木上次さん

●萌木の村(もえぎのむら)

住所 〒407-0301 山梨県北杜市清里町清里3545

TEL 0551-48-3522

営業時間 10:00~18:00(5~11月)
10:00~17:00(12~4月)
年中無休

●公式サイト
<https://www.moeginomura.co.jp/>

山梨は世界一の景観地

オルゴール博物館「ホール・オブ・ホールズ」

萌木の村のレストラン「ROCK」